

ベビーカー

カルーンエアーR

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

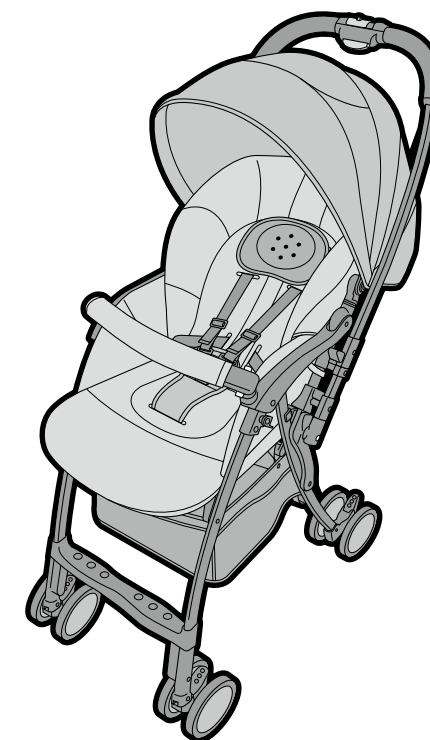
この製品は生後1カ月※～36カ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、1カ月を経過した乳児をいいます。この条件を満たさないお子さまへの本製品のご使用については医師にご相談ください。

ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。

本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



SG安全基準A形

目次

はじめに

ご使用前に	1
保護者の方へのアドバイス/SG基準について/本書の表示について	
ご使用上の注意	2~4
警告/注意	
製品を取り出した時に	5
製品の特徴	
各部の名称	6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方	7
ハンドル切替のしかた	9
キャスターロックレバーの使い方	9
ストッパーの使い方	10
フロントガードの開き方	11
カゴの使い方	11
頭マモールパッドの取り付け方	12
お子さまの乗せ方	13
肩ベルトの高さ調節	15

リクライニングの角度調節	16
日除けの使い方	17
ベビーカーの折りたたみ方	19

縫製品の取り外し方法

日除けの取り外し方	20
フロントガードカバーの取り外し方	20
カゴの取り外し方	20
シートの取り外し方	21
シートの取り付け方	22

その他

日常のお手入れ	23
困った時	25
保管について/廃棄について	26
SGマーク制度について	26
保証とアフターサービスについて	27
MEMO	28
保証書	30

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
 ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
 ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
 ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

保護者の方へのアドバイス

赤ちゃんは、大人の縮小版ではありません。
特に新生児期を過ぎて首がすわるまでの赤ちゃんは未熟です。

赤ちゃんのことをよく理解しベビーカーの使用は注意してください。

- ①常に赤ちゃんの様子に気を付け、連続使用は避けましょう。
- ②赤ちゃんに直射日光が当たらないように注意しましょう。
大人が感じるよりベビーカー内の温度は高くなります。
- ③騒音や浮遊粉塵の多い人込みは避けましょう。
- ④段差の通過は出来るだけ静かに、振動・衝撃のかかる道などは避けましょう。

SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。(この製品は、SG安全基準A形合格品です。)

適用範囲	このベビーカーは、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。
形式の分類	A形 生後1カ月を過ぎまだ首がすわらない乳児から寝かせた姿勢で使用できるベビーカー。
使用範囲	生後1カ月から36カ月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢：2時間以内 座らせた姿勢：1時間以内
背もたれ角度	150°以上
車輪の外径	115mm以上

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。
--	------------------------

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。

シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。

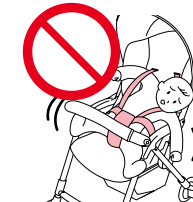


ベビーカーの中でお子さまを立たせない。



お子さまが立ち上がり落ちてたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。



路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。



車輪がはまった時は、フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまった車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。



坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。



お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。



お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。



バランスを崩したり、足が見えなくて転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げない。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。

二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。

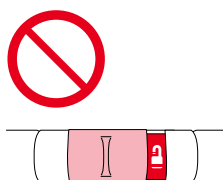


ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

ご使用時は、開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。



必ずハンドルレバーロックをかけた上で使用する。



ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかたりしない。



路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。

気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。



お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。またお子さまの体格に合わせて調節すること。



ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。



可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。

開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。



フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- お子さまにベビーカーを操作させない。
- お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- 弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。
- シートを外した状態で使用しない。

- 急激に力を加えたり、落下、投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- お子さまの遊び道具として使用しない。
- 電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、大変危険です。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- 必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。
- 長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- 空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- 2台のベビーカーを連結して使用しない。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
- フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けしないでください。破損の原因となります。
- カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。

- 保護者、介護者などが、ベビーカーに腰掛けない。
- 荷物などの運搬のために使用しない。
- その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- 雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- 風の強い時は使用しない。
- 雷の時は使用しない。
- 室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- 火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

段差を無理に乗り越えようとししないでください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉

対面での使用の場合は、ステップに足裏をあて、ハンドルを手前に引いて乗り越えてください。



背面での使用の場合は、ハンドルを押し下げ、同時にアームレスト部を引き上げて乗り越えてください。



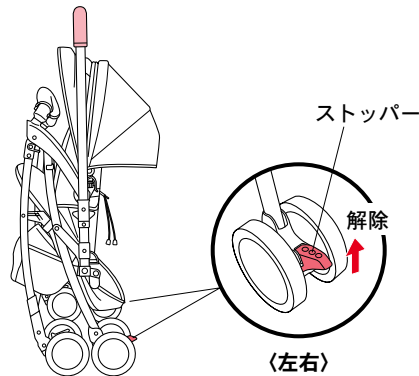
製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P27参照)
- ・ご使用前に、P30「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号(P6「各部の名称」参照)
 - ②購入日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P27参照)

本体

- ・箱から取り出した時は折りたたんだ状態です。
- ・ベビーカーを開く時はP7を参照してください。

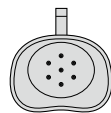
〈製品を取り出した時には〉
 ストッパーがロックされた状態になっております。ご使用前にストッパーのロックを解除してください。(P10参照)
 ベビーカーを開く時はP7を参照してください。



注意

- ・ご使用前にロックを解除してください。(P10参照)

付属品



頭マモールパッド
 (本体に装着されております。)



取扱説明書/保証書
 (本書)

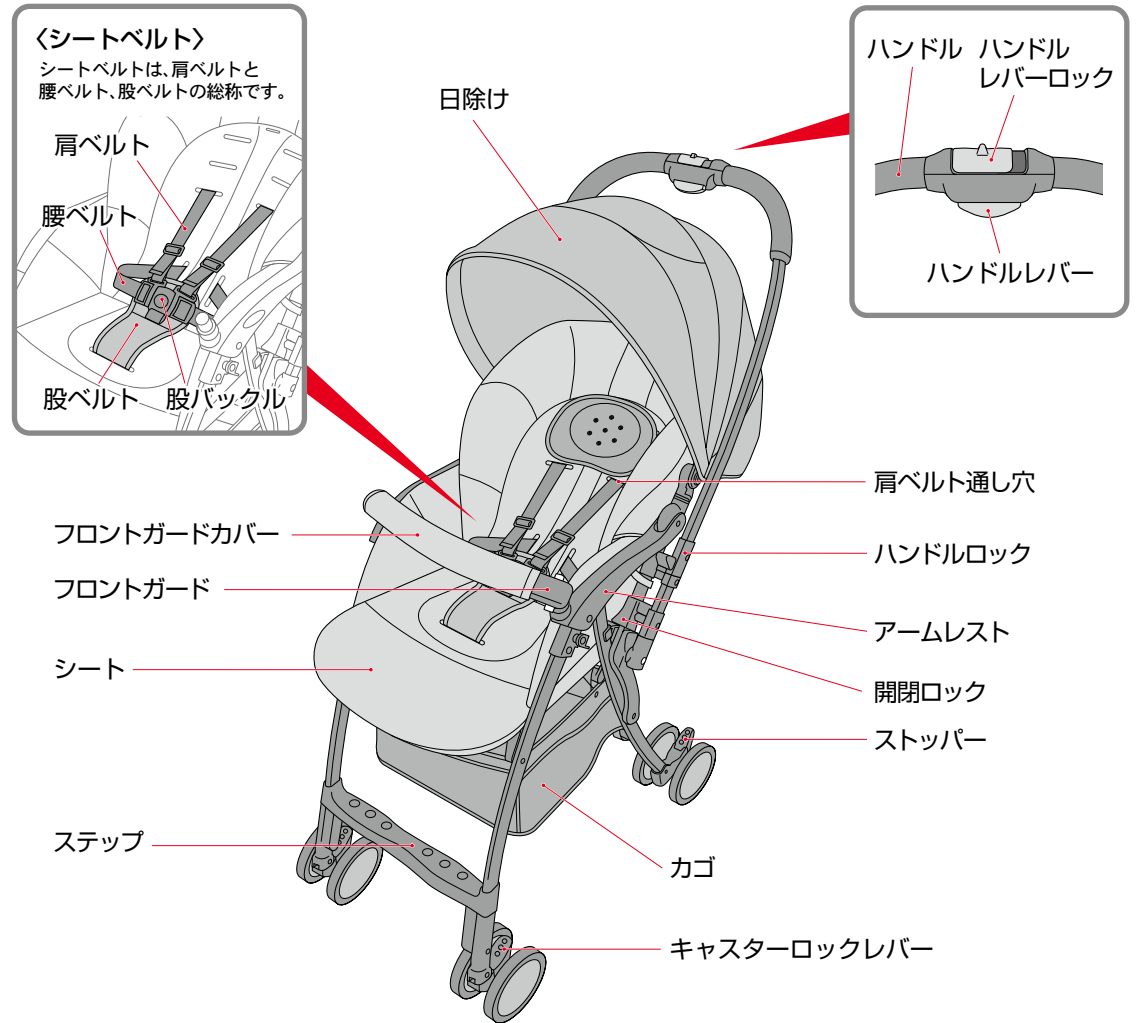
警告

- ・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

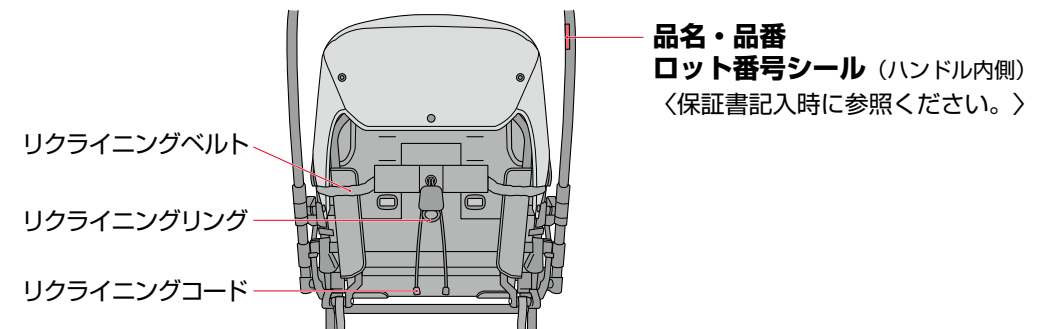
〈製品の特徴〉

- ・ハンドルは背面、対面切替え式です。
- ・前後折りたたみ方式です。
- ・車体を折りたたんだ状態で自立します。
- ・フレームには軽量のアルミパイプを使用しています。

各部の名称



〈背もたれ背面〉



ベビーカーの開き方



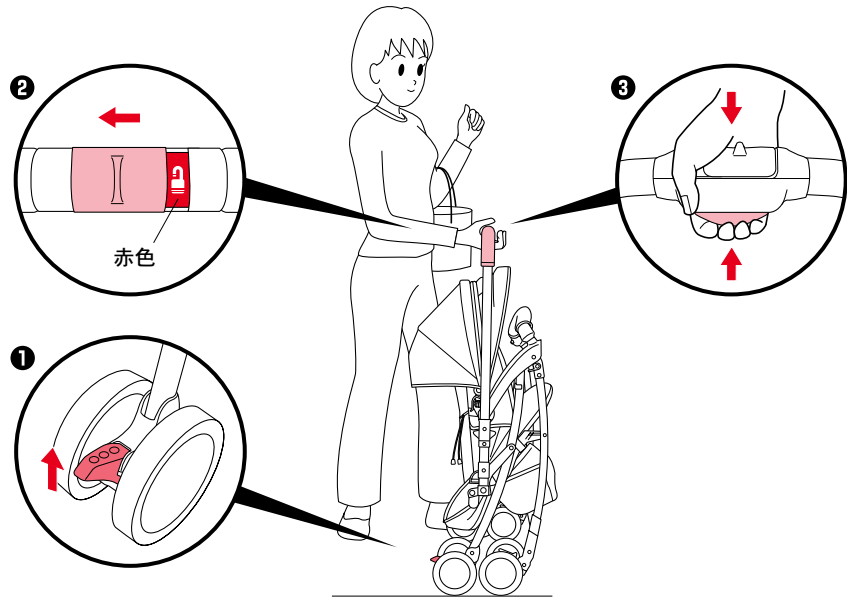
警告

- 開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

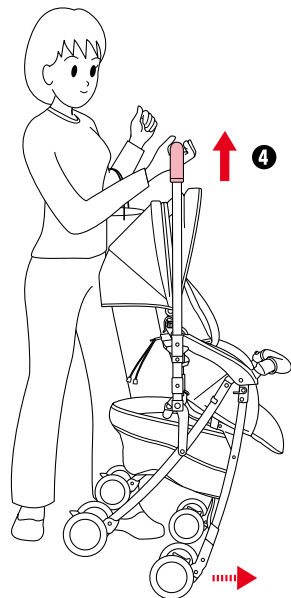
〈ロックの解除〉



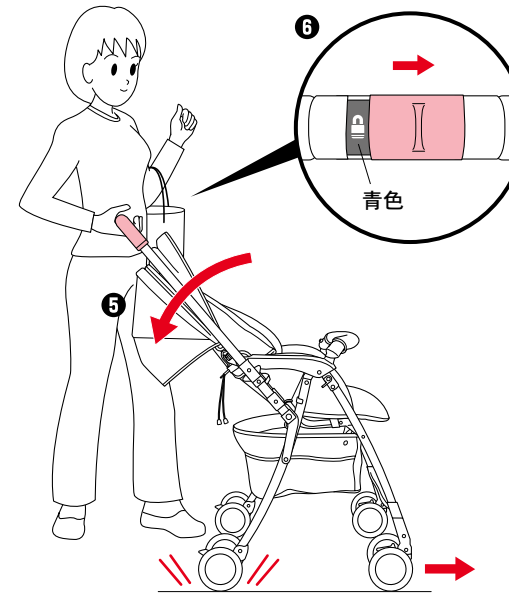
- ① ストッパーをロック解除する。(P10参照)
- ② ハンドルレバーロックを解除する。
(赤色が表示されます。)

③ ハンドルを軽く下に押し付けハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。

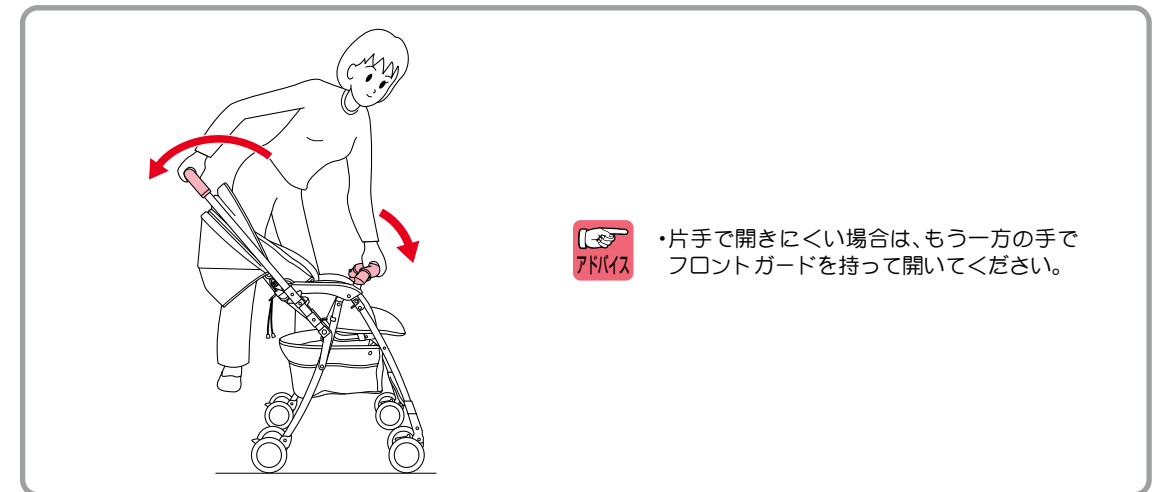
〈開く〉



④ 握ったまま、後輪が地面より離れるまで持ち上げる。



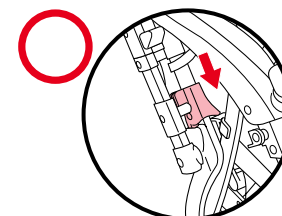
- ⑤ そのままハンドルを手前に引いて開く。
- ⑥ ハンドルレバーロックをかける。
(青色が表示されます。)



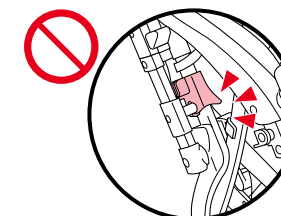
片手で開きにくい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って開いてください。



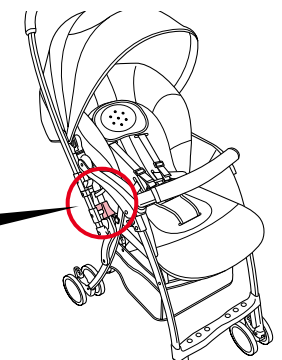
ご使用時は開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認すること。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。



開閉ロックが降りている状態



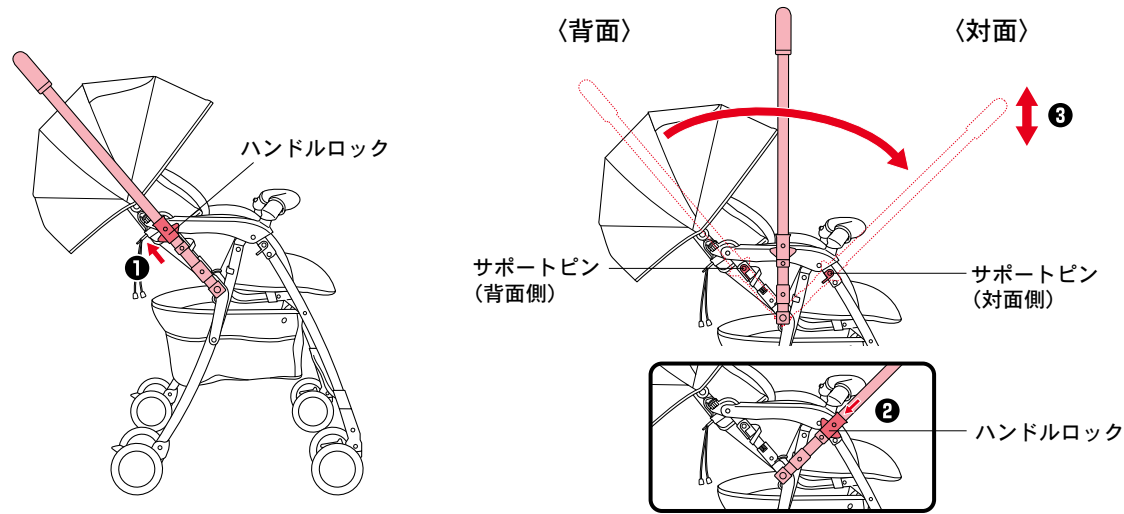
開閉ロックが降りていない状態



ハンドル切替のしかた

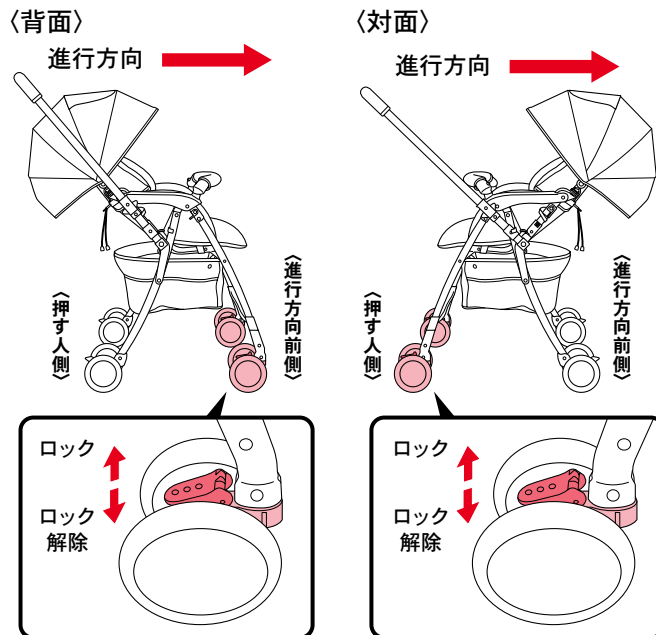


- ・ハンドルを切替える時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。
- ・坂道ではハンドル切替えを行わない。ベビーカーが思わぬ方向に動き出し、転倒してお子さまが落ちる場合があります。
- ・ベビーカーを押しながら、ハンドルの切替え操作をしない。



- ①ハンドルロック(左右)を同時に引き上げながら、ハンドルの向きを切替える。
- ②ハンドルロックをサポートピンにかける。(左右)
- ③ハンドルを上下に動かし、ロックされたことを確認する。

キャスターロックレバーの使い方



〈キャスターをロックする場合〉

- ・凸凹道、坂道、傾斜地などの走行には一時的にキャスターを左右共ロックすると押しやすくなります。

- キャスターロックレバーを押し上げ、ロックする。(左右)

〈キャスターをロック解除する場合〉

- ・通常はこの状態でご使用ください。

- キャスターロックレバーを押し下げ、ロック解除する。(左右)



- ・キャスターをロックする位置は背面と対面では違います。キャスターロックレバーは、必ずベビーカーを押し人側に向けてロックする。ロックする位置を間違えて使用すると、破損の原因となります。

ストッパーの使い方

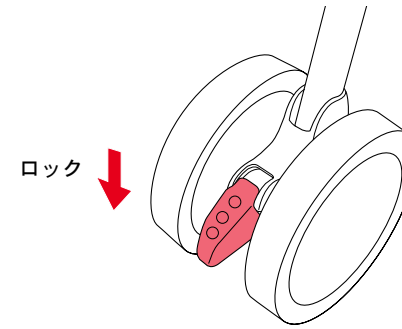


- ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックすること。
- ・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。
- ・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。



- ・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックしてください。

〈ストッパーをロックする場合〉

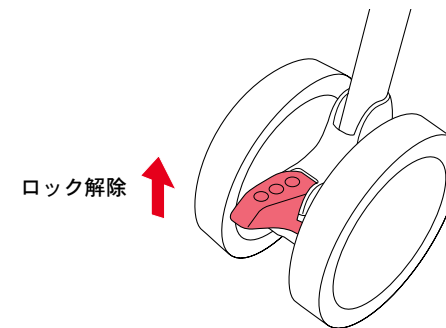


- ①車輪のストッパーを押し下げてロックする。(左右)
- ②前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。



- ・ストッパーのロックがかかりにくい時は、ベビーカーを前後させて再度ストッパーを押し下げてロックしてください。

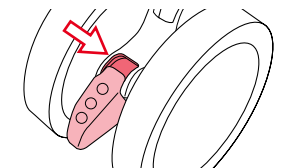
〈ストッパーをロック解除する場合〉



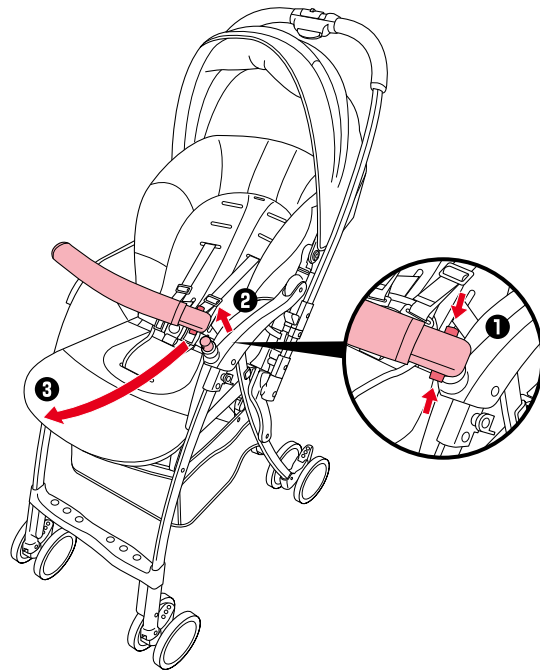
- 車輪のストッパーを押し上げて解除する。(左右)



- ・ストッパーを手でロック解除する場合は、矢印の部分で指を挟まないようにご注意ください。



フロントガードの開き方



- ①内外のガードボタンを押しながら、
- ②フロントガードを上方に引き抜く。
- ③フロントガードを下に降ろす。

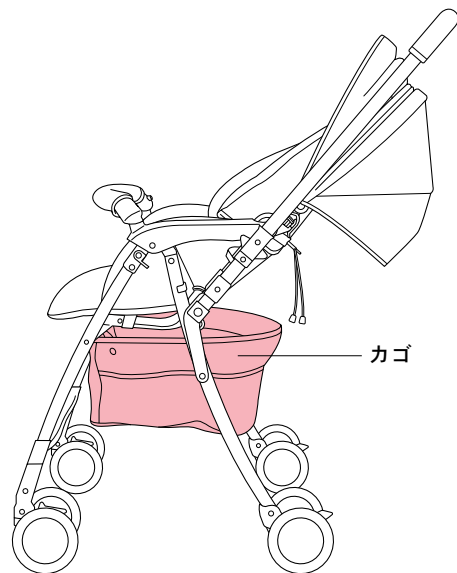


・フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないようにすること。
・フロントガードを持って、お子さまを乗せたままの製品を持ち上げたり、引っ張ったりしない。

カゴの使い方



- ・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
- ・重量5kg以上の荷物を入れない。
- ・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
- ・カゴには貴重品などを入れない。



- カゴの上部から荷物の出し入れをする。



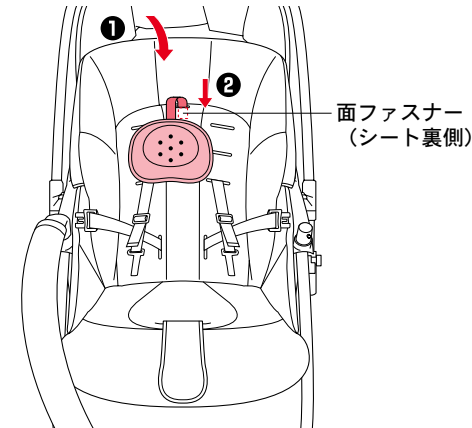
・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

頭モールパッドの取り付け方

・頭モールパッドは、ベビーカー内において、お子さまの姿勢を適切に保つことをサポートします。

頭モールパッド 首すわりの頃（月齢の目安：4カ月頃）までご使用ください。

- ・頭モールパッドは肩ベルト位置が下段でのみ使用してください。お子さまの発育に合わせて最長7カ月頃まで使用できます。（肩ベルトの高さ調節はP15参照）

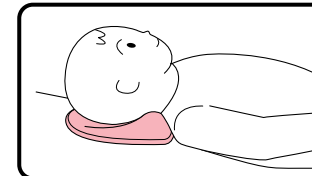


- ①背もたれを一番倒した状態にする。(P16参照)
- ②パッド取り付け穴に面ファスナー付きベルトを矢印方向に通し、シート裏側の面ファスナーに取り付ける。



・パッドが取り付けにくい場合は、シートの上部を外して、シートの裏側を見ながら取り付けてください。（シートの取り外し方はP21参照）

〈頭モールパッドの取り付け位置について〉

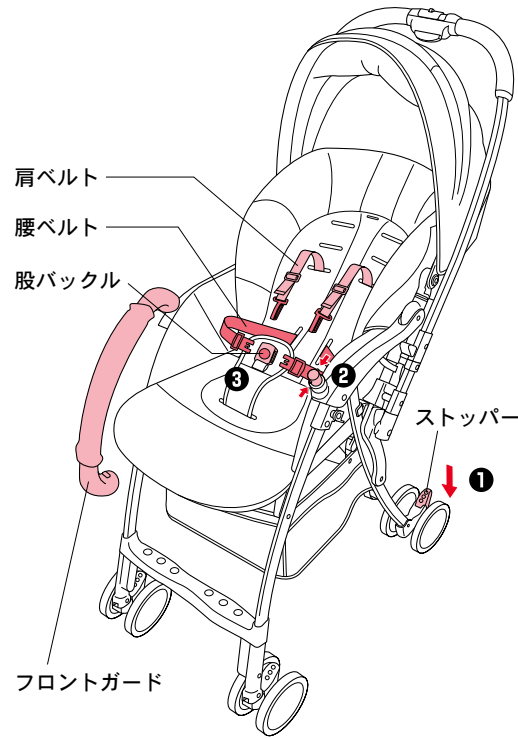


- パッド下部のふくらみがお子さまの首の後ろに合うように取り付けてください。
- ※パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外してください。



・頭モールパッドは、肩ベルト位置が中段や上段の時は使用できません。
また、パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外す。

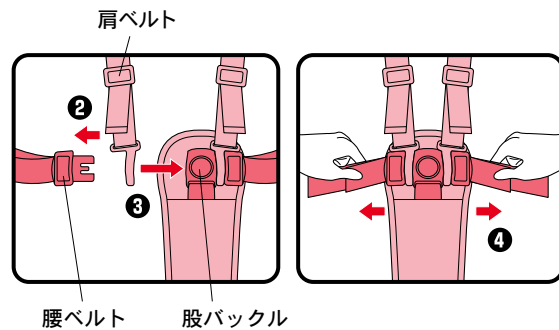
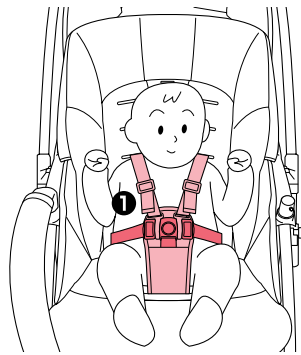
1 準備



- 1 ストッパーをロックする。(左右)
 - 2 フロントガードを開く。
・内外のガードボタンを押して開く。
 - 3 肩ベルト、腰ベルトを外す。
・股バックルを押して腰ベルト、肩ベルトを外す。
- ・肩ベルト位置を変える時は、P15「肩ベルトの高さ調節」を参照ください。
・リクライニングの角度を変える時は、P16「リクライニングの角度調節」を参照ください。

2 乗せ方

〈お子さまを乗せてシートベルトを締める〉

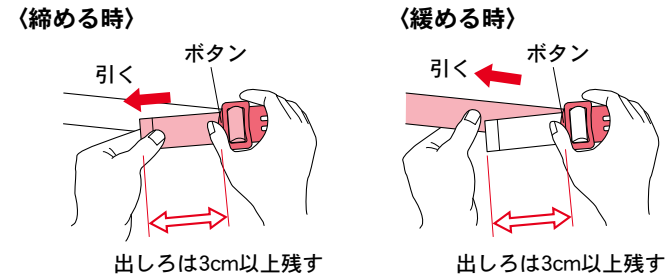


- 1 お子さまを乗せる。
 - 2 肩ベルトを腰ベルトに差し込む。
 - 3 腰ベルトを股バックルに差し込む。
 - 4 左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
- ※肩ベルトと腰ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P14 参照)

アドバイス 肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
肩ベルトがねじれていないか確認してください。

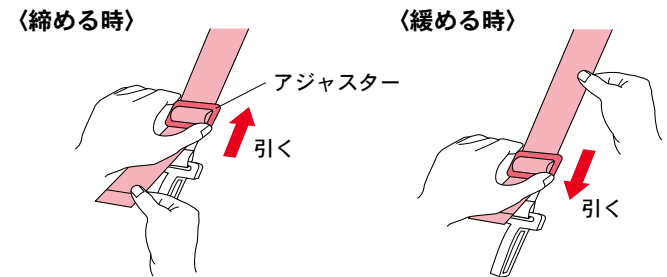
警告 シートベルトを締め後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

〈腰ベルトの調節〉



- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

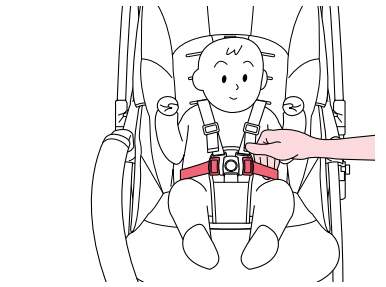
〈肩ベルトの調節〉



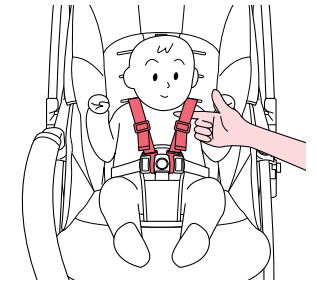
- アジャスターを引き、長さを調節する。

警告

- ・肩ベルト、腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。肩ベルト、腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
- ・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
- ・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
- ・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。
- ・腰ベルトの末端の出しろ(←→ 部分)は必ず3cm以上残す。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。

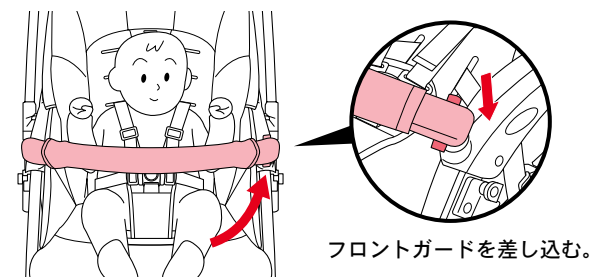


- ・腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。



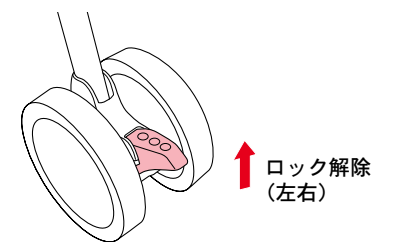
- ・肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度が適当です。

〈フロントガードを閉じる〉



フロントガードを差し込む。

〈ストッパーをロック解除する〉



ロック解除(左右)

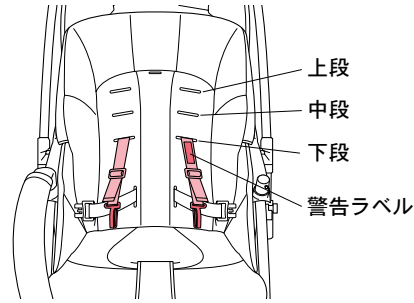
肩ベルトの高さ調節



警告 お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

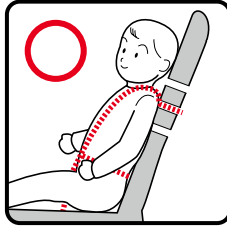
〈肩ベルト位置〉

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

・肩の位置より下段に通す。



・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

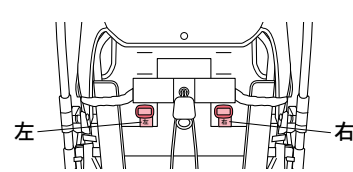
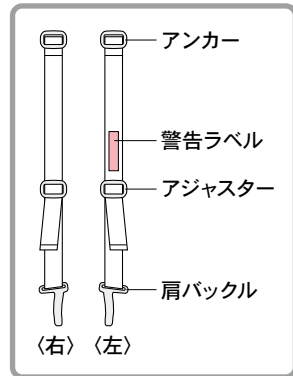
・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴位置
18カ月～36カ月	上段
7カ月～18カ月	中段
1カ月～7カ月	下段

※上記表示は目安であり個人差があります。

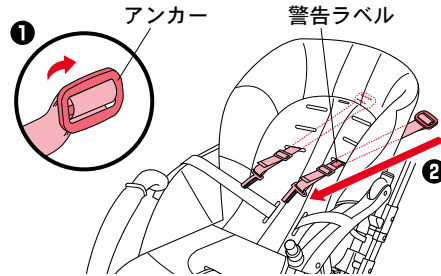
肩ベルトの高さ調節のしかた

●股バックルから肩ベルト、腰ベルトを外す。(P13「準備③」参照)

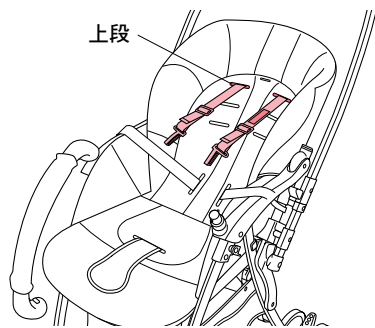


・ベビーカー背面から見て左側には左のラベルが付いた肩ベルト、右側には右のラベルが付いた肩ベルトを通します。

- ①肩ベルトのアンカーをひねる。
- ②背もたれとシートの肩ベルト通し穴から肩ベルトを抜く。(左右)



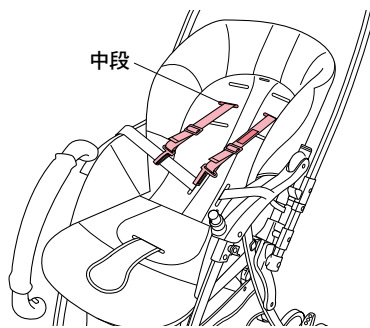
〈上段を使用する時〉



●シート穴(上段)とベース穴(上段)に通す。

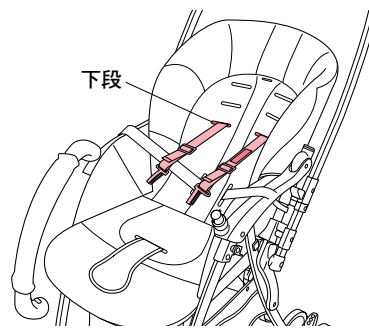
●肩ベルト高さ調節後、2～3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

〈中段を使用する時〉



●シート穴(中段)とベース穴(中段)に通す。

〈下段を使用する時〉



●シート穴(下段)とベース穴(下段)に通す。

リクライニングの角度調節

- ・リクライニングの角度調節機能は、お子さまの姿勢を快適に保つことをサポートします。
- ・背もたれを一番倒した状態にすると、お子さまが乗って平らになるように設計されています。
- ・背もたれを一番倒した状態にすると、ヘッドレストが起き上がります。

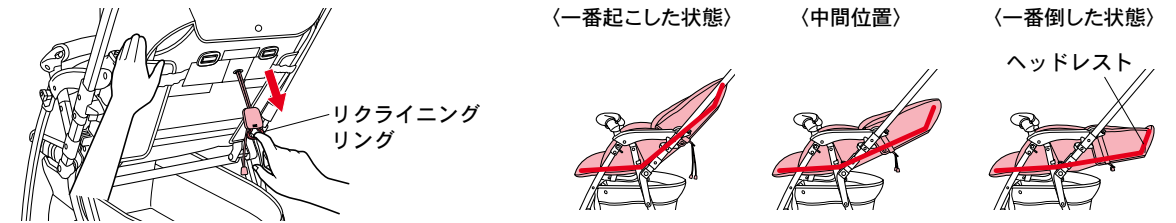
〈リクライニング位置の目安〉

月齢(体格)の目安	リクライニングの位置
1カ月～首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態～中間位置
ひとり座りできてから	一番倒した状態～一番起こした状態

※上記表示は目安であり個人差があります。

背もたれを倒す時

・肩ベルトをゆるめる。(P14 参照)



①片方のお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。

③リクライニングリングを引きながら背もたれを倒し、角度を調節する。

・リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。(P14 参照)



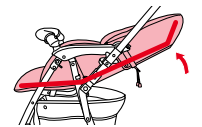
警告 お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルトがゆるい場合は、縮めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。



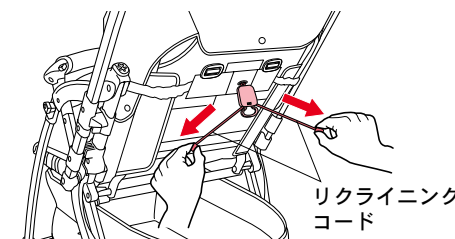
注意 ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。
ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。



アドバイス ひとり座りができるお子さまで、ヘッドレストの位置に頭がくる場合には、背もたれを倒した時に無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置にリクライニング角度を調節してください。



背もたれを起こす時



●お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。



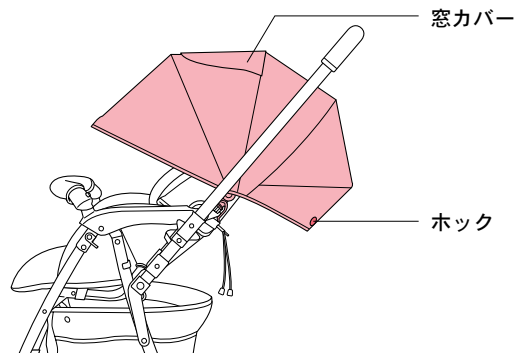
アドバイス お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

日除けの使い方

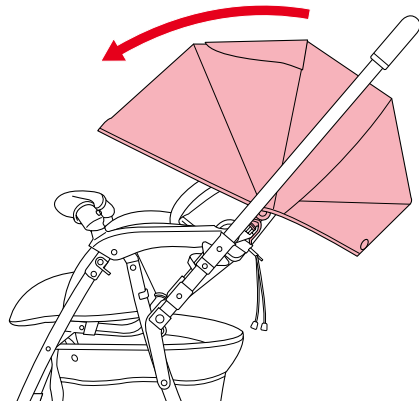


・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。
可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

〈日除け各部の名称〉

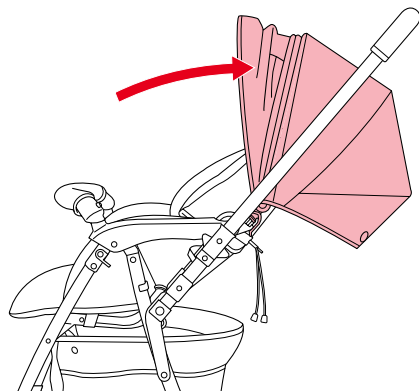


開き方



●日除けを前方に開く。

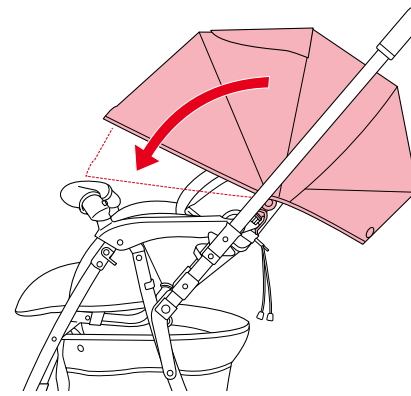
閉じ方



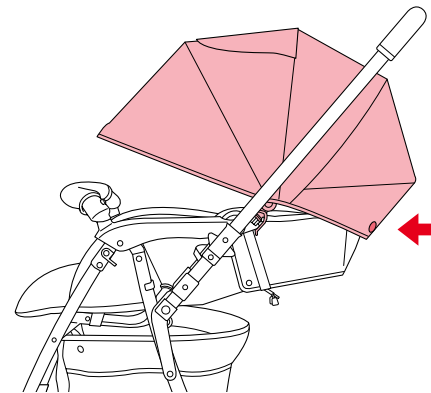
●日除けを閉じる。

日除けの角度調節

・背もたれを倒した時や日差しの低い時など日除けの角度を調節できます。

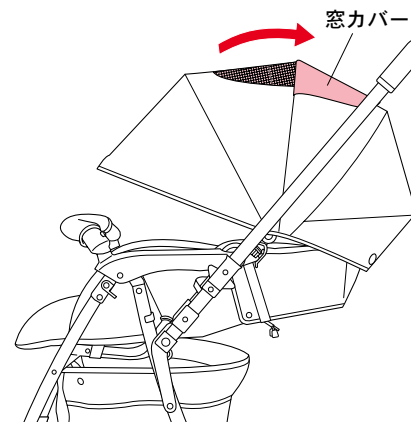


①日除けを開いた状態で前方向に回し、使用する位置でとめる。



②背もたれを倒した時は、日除けのホックをヘッドレスト後側のホックにとめる。(左右)

窓カバーの開き方



・日除けの窓カバーを開けると、窓からお子さまの様子を見ることができます。

ベビーカーの折りたたみ方



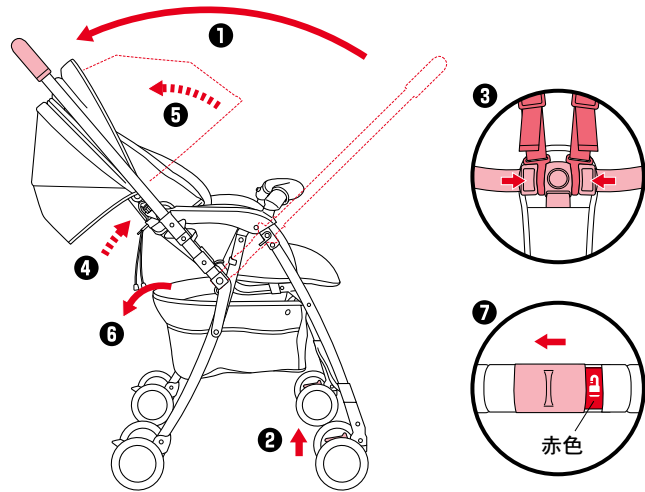
・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



・肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込んでからベビーカーを折りたたむこと。股バックルが破損するおそれがあります。

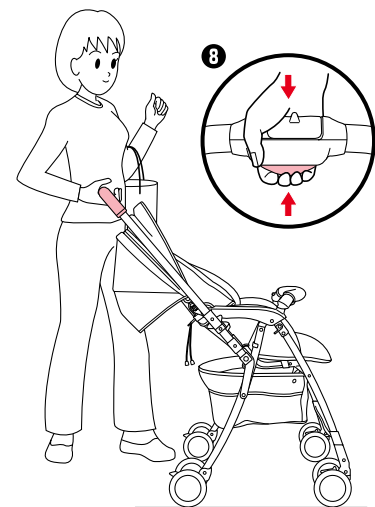
お願い

・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。



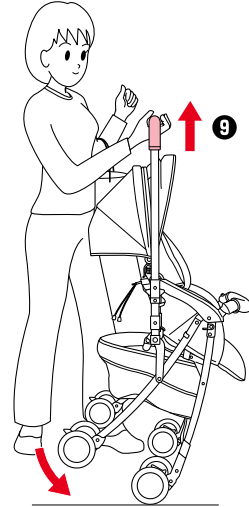
〈折りたたむ前に〉

- ① ハンドルを背面に戻す。(P9参照)
- ② 左右のキャスターをロックする。(P9参照)
- ③ 肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込む。(P13参照)
- ④ 背もたれを起こす。(P16参照)
- ⑤ 日除けを閉じる。(P17参照)
- ⑥ カゴから荷物を取り出す。
- ⑦ ハンドルレバーロックを解除する。
(赤色が表示されます。)



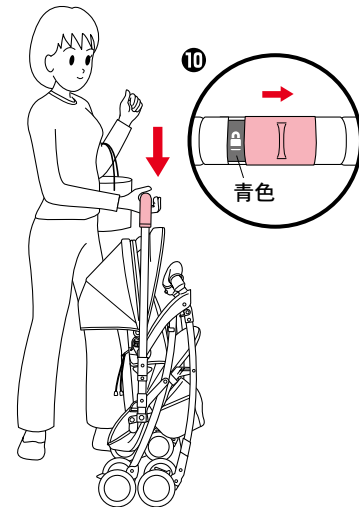
〈ロックの解除〉

- ⑧ ハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。



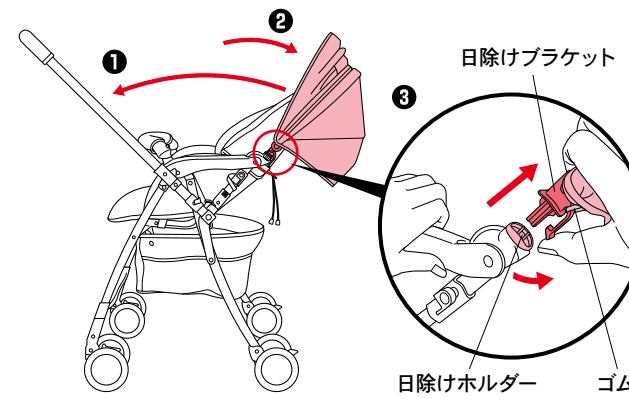
〈折りたたむ〉

- ⑨ 握ったまま、ハンドルを持ち上げ、ハンドルを降ろして折りたたむ。
- ⑩ ハンドルレバーロックをかける。(青色が表示されます。)



・片手で折りたたみづらい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って折りたたんでください。

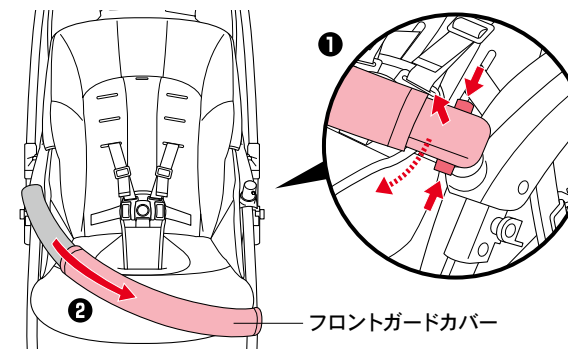
日除けの取り外し方



- ① ハンドルを対面に切替える。(P9参照)
- ② 日除けを閉じる。(P17参照)
- ③ 日除けブラケットの下側のツメを指先で手前に引き、日除けホルダーから引き抜く。(左右)

・日除けを取り付ける時は、ゴムが外れていないことを確認する。
・取り付けは逆の手順で行ってください。

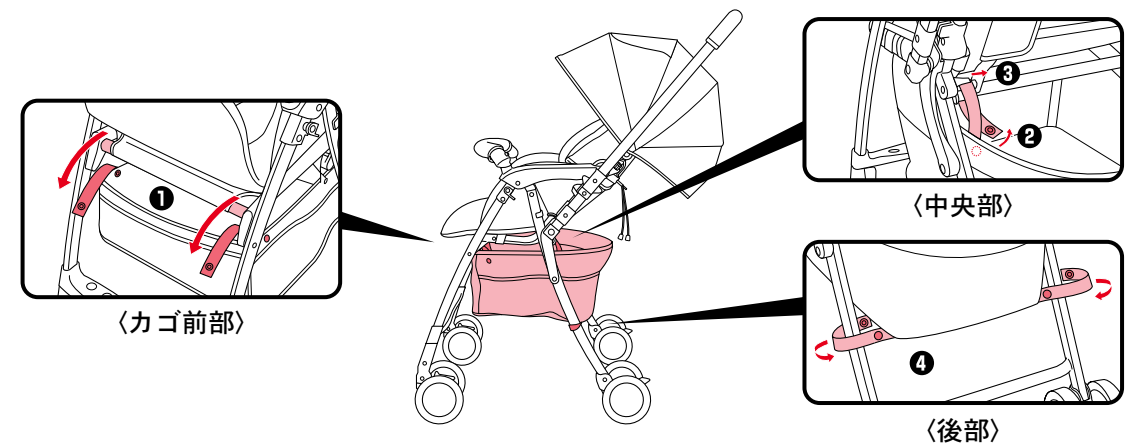
フロントガードカバーの取り外し方



- ① フロントガードを開く。
- ② フロントガードカバーを抜き取る。

・取り付けは逆の手順で行ってください。

カゴの取り外し方



- ① カゴ前部のホック(左右)を外す。
- ② 中央部のホック(左右)を外す。
- ③ ベルトを内側にスライドさせて抜き取る。
- ④ 後部のホック(左右)を外す。

・取り付けは逆の手順で行ってください。



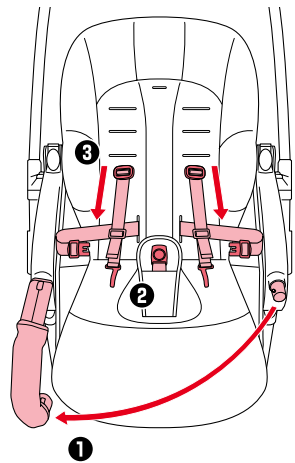
・カゴに荷物を入れたまま取り外さない。

シートの取り外し方

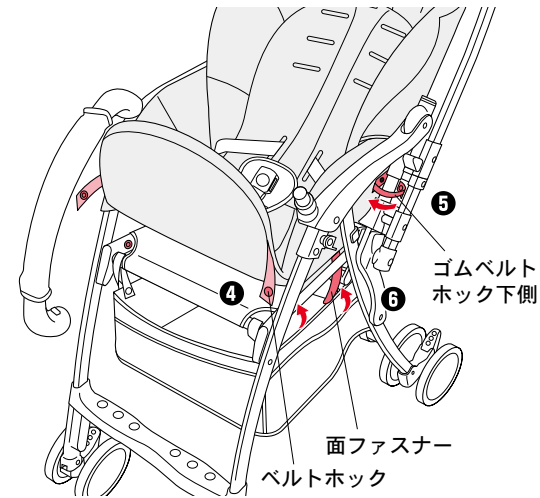


・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

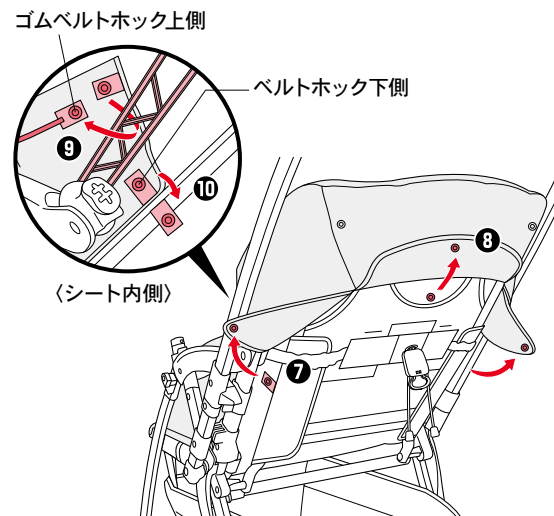
・日除けを取り外してから行う。(P20 参照)



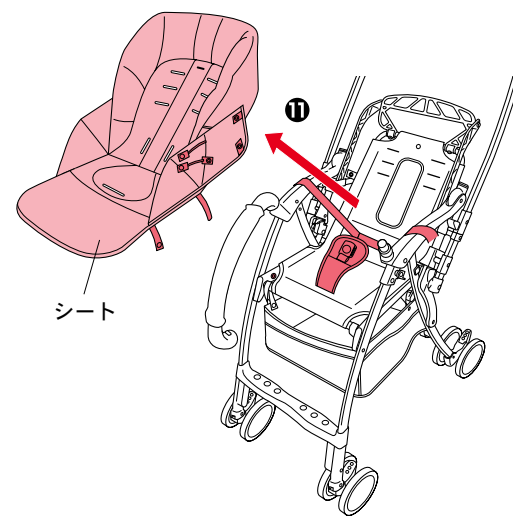
- ①フロントガードを開く。
- ②股バックルを押し、肩ベルト、腰ベルトを外す。
- ③肩ベルトを引き抜く。(P15①②参照)



- ④シート座面裏側のベルトホック (2カ所) を外す。
- ⑤シート両側のゴムベルトホック下側 (2カ所) を外す。
- ⑥シート座面裏側の面ファスナー (2カ所) を外す。

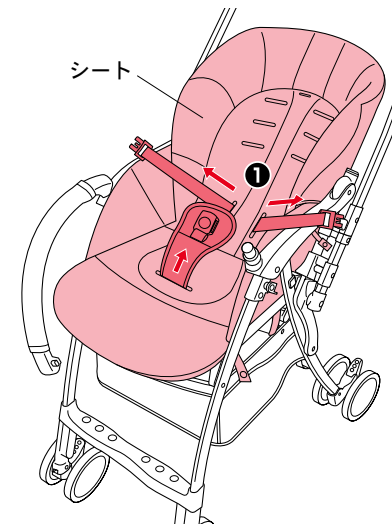


- ⑦シート両側のホック (2カ所) を外す。
- ⑧背もたれ背面のホックを外す。
- ⑨ゴムベルトホック上側 (2カ所) を外し、抜き取る。
- ⑩ベルトホック下側 (2カ所) を外す。

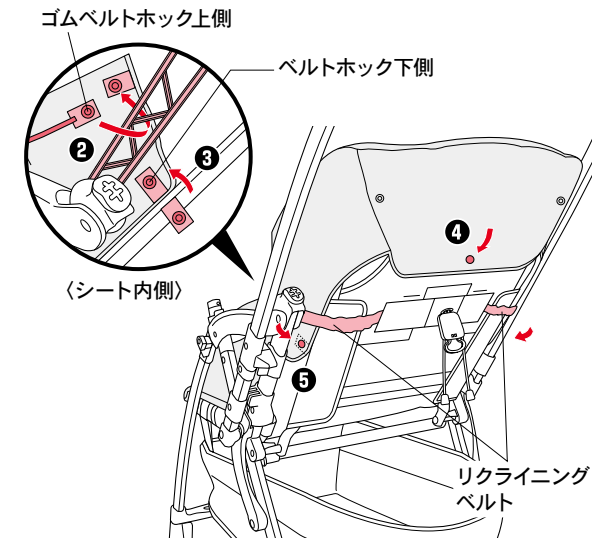


- ⑪股ベルトと腰ベルトをシートから引き抜き、シートを取り外す。

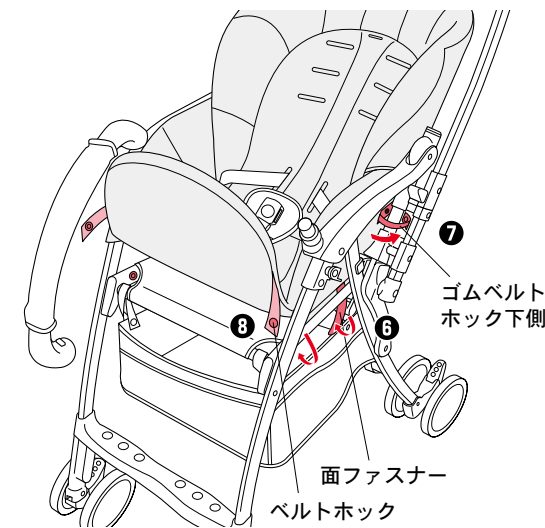
シートの取り付け方



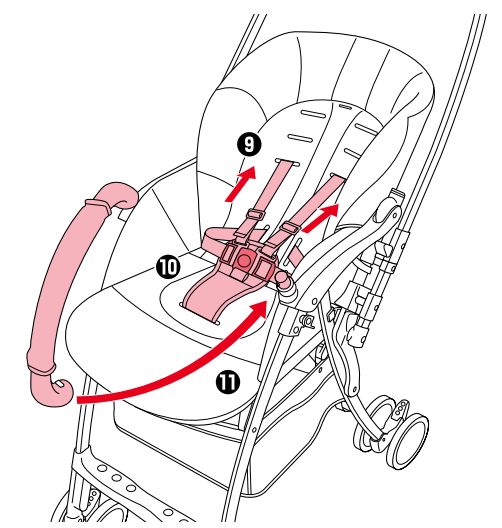
- ①股ベルトと腰ベルトを通し穴に通し、シートを取り付ける。



- ②ゴムベルトホック上側 (2カ所) を通し、ホックをとめる。
- ③ベルトホック下側 (2カ所) をとめる。
- ④背もたれ背面のホックをとめる。
- ⑤シートをリクライニングベルトの内側に通し、両側のホック (2カ所) をとめる。



- ⑥シート座面裏側の面ファスナー (2カ所) をとめる。
- ⑦シート両側のゴムベルトホック下側 (2カ所) をとめる。
- ⑧シート座面裏側のベルトホック (2カ所) をとめる。



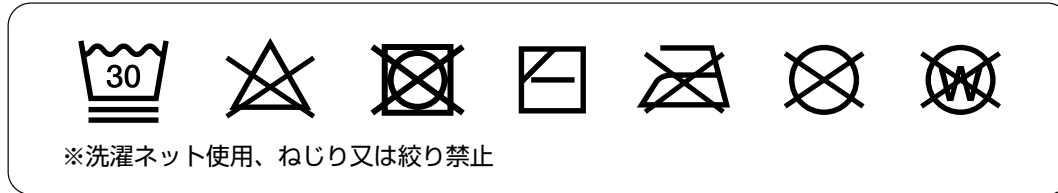
- ⑨肩ベルトを取り付ける。(P15参照)
- ⑩肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込む。
- ⑪フロントガードを取り付ける。

・日除けを取り付ける。(P20 参照)

縫製品の洗浄方法

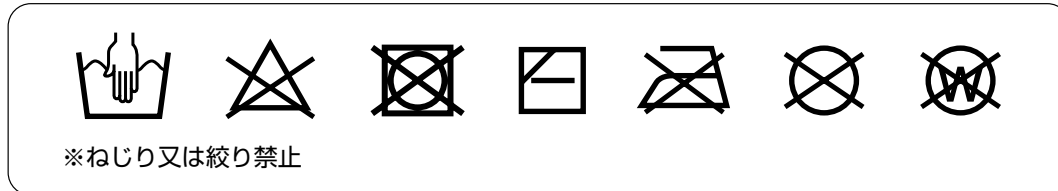
〈シーートの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



〈フロントガードカバー、頭マモールパッドの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



注意

- ・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- ・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈日除け、肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、カゴの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合

40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合

中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

注意

- ・縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(P27参照)

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームや車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

注意

- ・フレームや車輪に砂や泥、ホコリが付いたまま使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
- ・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

・車輪は消耗品です。車輪交換が必要な場合は弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(車輪交換は有償)

〈ネジ・ナット類について〉

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合は弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P27参照)

〈フロントガードについて〉

・フロントガードの差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

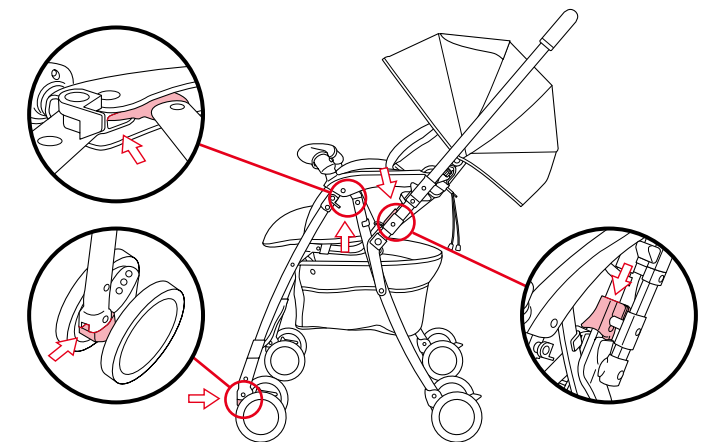
〈注油について〉

・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤を使用してください。

・注油の前には、泥やほこりを落とし、十分に水分を拭き取ってください。

・注油は、1カ所につき2～3滴程度としてください。

●車体がスムーズに開閉しない場合や、キャスターがスムーズに回転しない場合、車輪や車体がきしむ場合は、市販のシリコン滑走剤を図の⇒の箇所にし、開閉操作を2～3回行います。(開閉の場合のみ)



注意

- ・フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコン滑走剤などを付着させないでください。フロントガードが外れるおそれがあります。



困った時

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P27 参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
ハンドルレバーを握って押し込めない時は	ハンドルレバーロックを解除してから行ってください。(P7参照)
キャスターが回転しない時は	キャスターロックレバーを左右共解除してください。(P9参照)
キャスターの回りが悪い時は	キャスターにシリコン滑走剤をさしてください。(P24参照)
ストッパーがきかない時は	ベビーカーを少し前進させてからストッパーをロックしてください。ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
ハンドル切替ができない時は	車体が完全に開き、開閉ロックが降りていることを確認してください。(P8参照) 左右のハンドルロックを解除してから切替えてください。(P9参照)
背もたれが起こせない時は	お子さまをベビーカーから降ろして、リクライニングコードを引いてください。(P16参照)
ベビーカーが開かない時は	シートの生地がアームレストなどのフレームに挟まっていないか確認してください。
肩ベルトを腰ベルトに差し込めない時は	衣類などの生地やシートベルトが挟まっていないか確認してください。
ベビーカーが折りたためない時は	〈折りたたむ前に〉を行ってから折りたたんでください。(P19参照) 開閉ロック部分にシートベルトが挟まっていないか確認してください。
タイヤが消耗した時は	タイヤが消耗し走行に異常を感じた時は、タイヤの交換が必要な場合があります。弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(P27参照)

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保管について

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



・日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。
プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- ・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。
ただし、ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度

